

幾代会観察会(2023年1月)のまとめ

- ◆日時 2023. 1. 8(日)
- ◆散策場所 東京都薬用植物園
- ◆ポイント
 - ①新年にまつわる野草の薬効
 - ②ガイドさんが実施している薬草で効果があった薬草や勧めたい薬草
 - ③薬草の育ち方を見て感じたことやこぼれ話など実際に感じた事
 - ①から③をガイドンさんに説明して貰う
- ◆散策ルート 東大和市駅～東京都薬用植物園～飲食店にてランチ～森田オープンガーデン～川越道緑地古民家園～玉川上水～玉川上水駅(ルート距離3K)
- ◆参加者 大村さん、梅田さん、羽深さん、石川さん、岡さん、太田さん、土方さんと越前の8名。(申し込み順)下見:12月23日(金)3名



◆1月の植物観察会のポイント

屠蘇散(とそさん)について

お願いした熊井ガイドよりお正月にちなみ屠蘇散の説明を受けました。

今はお屠蘇と言えば単に清酒を飲むことをさすこともありますが、本来はお屠蘇とは数種類の生薬・屠蘇散を清酒やみりんに一晩、漬け込んだお祝いのお酒のことで中国より伝わりました。

屠蘇散に使われたオケラ、サンショウ、ハマボウフウ、キキョウ、ニッケイ、チンピ等を実際の薬用植物園の植物を見ながら解り易く説明して貰いました。

薬効のある生薬をブレンドした屠蘇散はネットでも数百円で販売されているので健康を祈願して味わってみるのも良いかもしれません。

屠は邪気を払い、蘇は心身を目覚めませ蘇らせるとの意味が有ります。



熊井ガイド



山口ガイド



クズ

◆散策路の植物

飛び跳ねるウサギのように飛躍を望む 2023 年初の観察会は〜〜西武線の東大和市駅へ 8 名が 10 時に集合です。

最初にそれぞれのお正月の様子を順番に聞き、仲間の知らなかった一面を知り、和気あいあいとスタートです。

駅から 2-3 分の薬用植物園ではお願いしてあった熊井ガイドと山口ガイドに園内を案内して貰い、あっという間に 2 時間が過ぎました。

お客様に楽しんで貰えるように頑張っていっしょやるボランティアの様子が新年早々、じ〜んと伝わりました。

園内でとりわけ目を引いたのは葉を落とした直

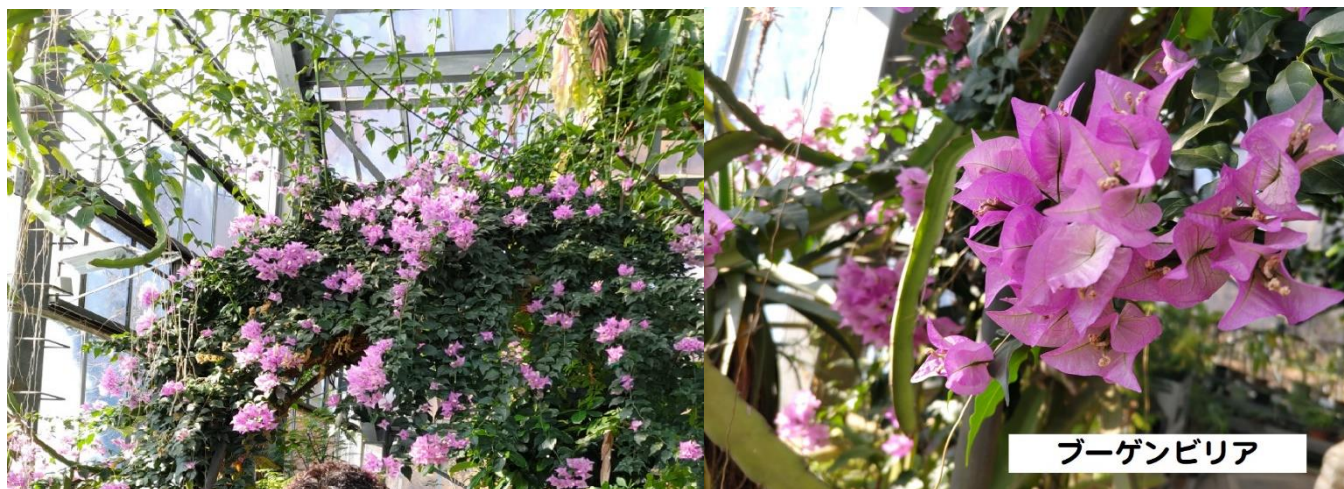
径15cm前後のクズの大木です。

野山では何時も刈り払われるのでトテモお目にかかれない立派な巨樹です。

園内ではナント驚きの1700種もの植物が育てられているとのことですが、真冬の1月に目についたのは温室のブーゲンビリアです。

ピンクの花びらのように見えるのは苞で、花は内部に有り中心で黄色に見えるのは顎で花弁は有りません。3枚の苞が集まり一つの花のように見え、屋外では5月から10月頃に花を楽しめます。

ロックガーデンでは昨年、昭和記念公園でも見た白いスノードロップの花。



春を告げるフクジュソウやセツブンソウより早く咲くのもっと注目されても良いのではと思いました。

薬用植物園はボランティアに丁寧に説明して貰え、おまけに無料で楽しめるのですから花好きにはたまらない超穴場スポットです。

「石原都政の時に財政圧迫で閉園の話もあったけど、住民の反対でまぬがれたのよ」「ふ〜ん、残って良かった」

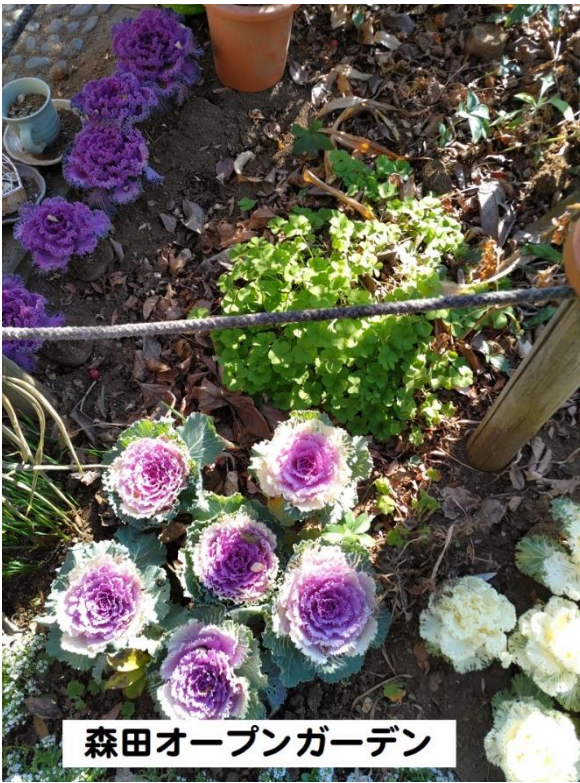
お昼は近所の「ななかまど」で食べ、仲間から勧められた小平市の森田オープンガーデンへと向かいました。

オーナーの森田さんは不在でしたが自由に見てくださいとのことでした。

依然に訪れたことが有る仲間が3人もいる有名なスポットだそうです

400坪前後も有りそうな冬枯れの広いガーデンでしたが春には色とりどりの花が咲き乱れ、素晴らしいでしょうね。

尚、葉ボタンの脇に植えてあったビー玉ぐらいの実を付けた3mぐらいの樹木は後で確認したらヒメリンゴとのことでした。



森田オープンガーデン



立川幸町団地のメタセコイア

近くに玉川上水が流れ、イロイロな木の実が有り自然豊かで、ここは可愛い小鳥たちの楽園です。

森田オープンガーデンを後に立川市指定有形文化財の川越道緑地古民家園へと向かいました。

途中の幸町団地では葉を落とした3本のメタセコイアがまっすぐに気持ちよさそうに青空に向かっていました。

遠目にはイチョウかなと思ったのですが近寄ってみたら落ち葉からメタセコイアと判明。川越道緑地公園の小林家の濡れ縁で皆さんからの嬉しい色々なおやつを食べながら陽だまりでほっこりと水分補給。

小林家の周りはシデやコナラが生い茂り武蔵野の面影が緑地公園としてまだまだ残っていました。

休憩後は玉川上水沿いを西に歩いて一路、玉川上水駅に向かいます。

上水沿いではトウネズミモチやネズミモチの黒い実が目立ちます。

「トウ って中国の唐なの」との声。

そうそう、今日はクロガネモチも話題にのぼり、モチモチトリオです。



ネズミモチの葉の説明



ソヨゴ



川越道緑地古民家園

ソヨゴの苗を造園屋さんの畑で観察。
 口癖の「これ、な～～んだ？」
 新人さんはこの言葉にドッキリするようで、スイマセン。
 赤くなった1cm弱の実は3-4cmの果柄にぶら下がり、風に揺れてキュートです。
 地下部は根回しされ縄で縛られて埋めて有りました。どちらのお宅にお嫁入るのかな～～。
 庭木では見かけますが、野山では見たことが有りません。
 住宅事情で横に枝を広げない木が好まれるのか多くのソヨゴやシャラの木が一行に並んでスタンバイしていました。
 玉川上水沿いのコナラやクヌギの落ち葉をカサコソと踏みしめながら歩くと、ほどなく玉川上水駅に到着です。

参加の皆さん、本日もお疲れさまでした。

五感でイロイロ楽しみ、メモを取りながら収穫の多い一日でした。

越前記

